

2021/1/14

白川義員写真展 永遠の日本／天地創造

Shirakawa Yoshikazu Exhibition: Eternal Japan/The Earth

2021年2月27日(土)ー5月9日(日)

第一期 永遠の日本 2021年2月27日(土)ー4月4日(日)

第二期 天地創造 2021年4月6日(火)ー5月9日(日)

※上記の日程で展示替えを行います。

※本展は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、会期を変更して開催いたします。また、諸般の事情により変更が生じる可能性があります。あらかじめご了承ください。



《ザ・ウェーブ、アメリカ》

作家蔵

東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団では、Tokyo Tokyo FESTIVALの一環として「白川義員写真展 永遠の日本／天地創造」展を実施いたします。

白川義員(1935-)は“地球再発見による人間性回復へ”を基本理念として、1969年出版の『アルプス』から、10のシリーズを発表してきました。

本展は二期構成で、シリーズ第11作目「永遠の日本」と、シリーズ第12作目となる最新作「天地創造」を紹介します。写真家生活60年以上にわたり白川が撮り続けてきた、国内外におよぶ選りすぐりのダイナミックな風景美を、最新のデジタル技術によるかつてないスケールと臨場感で再現します。

本展について

世界的写真家で、山岳写真家としても輝かしい実績を残す白川義員は、「地球再発見による人間性回復へ」を創作活動の基本理念として、地球がもつ美や神秘、荘厳さを追求し続け、1969年出版の『アルプス』以来、『ヒマラヤ』『アメリカ大陸』『聖書の世界』『中国大陸』『神々の原風景』『仏教伝来』『南極大陸』『世界百名山』『世界百名瀑』まで、10のシリーズを発表してきました。このたび、東京都写真美術館では白川義員の集大成となる2つのシリーズを二期構成で紹介します。

第一期、シリーズ第11作目となる「永遠の日本」は、日本人の誇りと魂を復興する一助になりたいという作家自身の願いが込められた、崇高で美しい日本の自然を紹介します。

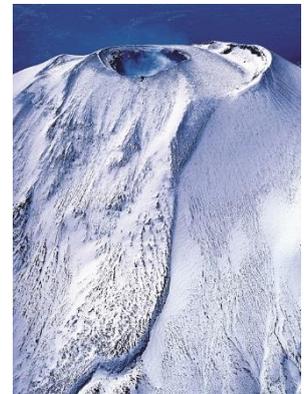
第二期、シリーズ第12作目となる最新作「天地創造」は、アメリカ西部の砂漠で、入域が1日わずか20人に限定されているザ・ウェーブや、中国の湖南省・張家界市に位置し、「仙境」と呼ぶにふさわしい武陵源など、いずれも近年知られるようになった地域のほか、「奇跡の絶景」といわれ、最近話題の南米ウユニ塩湖などを中心に構成されています。



1 《雌阿寒岳夕照》



2 《K2 8611 メートル北陵、パキスタン・中国》



3 《浅間山》

出品作家紹介



白川義員（しらかわ・よしかず）

1935年愛媛県生まれ。57年、日本大学芸術学部写真学科卒業、ニッポン放送に入社、文芸部プロデューサーとして勤務。59年にフジテレビに移籍、62年同社を一時退職し、中日新聞の特派員として8ヶ月間世界一周の写真取材を行う。同社退社後、フリーランスの写真家として活動を開始する。精力的に世界中を取材し、写真集『ヒマラヤ』（小学館、71年）により、72年、第13回毎日芸術賞、第22回芸術選奨文部大臣賞を受賞。

その後、地球がもつ美や神秘、荘厳さを追い求めた「地球再発見による人間性の回復へ」シリーズを展開。79年から80年にかけての『聖書の世界』三部作（小学館）により、81年全米写真家協会最高写真家賞を日本人として初めて受賞。88年、第36回菊池寛賞、95年、第27回日本芸術大賞を受賞。93年、83日間をかけて人類史上初の南極大陸一周に成功。97年以降は世界の山岳関係者が選定した「世界百名山」プロジェクトに着手、世界の名峰127座をカメラに収める。99年、紫綬褒章を授章、2002年、国際連合郵政局が「国際山岳年」を記念して白川作品による記念切手を発行。12年、シリーズ11作目『永遠の日本』（小学館）を発行。20年2月、シリーズ12作目『天地創造』（小学館）を発行。

出品点数 永遠の日本 130点／天地創造 196点（予定）

作家インタビュー



当館ホームページでは、作家のインタビュー動画を公開しています。



※同動画は2020年2月に撮影したものです。

(インタビュアー：関次和子、撮影：藤沢卓也)

展覧会関連書籍

『〔永遠の日本〕白川義員写真集』著者：白川義員

発行：永遠の日本撮影プロジェクト事務局、発行日：平成24年12月27日初版発行

『〔天地創造〕白川義員写真集』著者：白川義員

発行：天地創造撮影プロジェクト事務局、発行日：令和2年3月31日初版発行

開催概要

展覧会名[和] 白川義員写真展 永遠の日本／天地創造

展覧会名[英] Shirakawa Yoshikazu exhibition: Eternal Japan/ The Earth

主催 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館

協力 凸版印刷株式会社／株式会社小学館

会期 2021年2月27日(土)―5月9日(日)

第一期 永遠の日本 2月27日(土) - 4月4日(日) / 第二期 天地創造 4月6日(火) - 5月9日(日)

会場 東京都写真美術館 3階展示室

〒153-0062 東京都目黒区三田 1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内

電話 03-3280-0099 www.topmuseum.jp

開館時間 10:00-18:00 (入館は閉館30分前まで) ※現在、木・金20:00までの夜間開館は休止中

休館日 毎週月曜日(5月3日を除く)

観覧料 一般700円／大学・専門学校生560円／中高生・65歳以上350円

※小学生以下及び都内在住・在学の中学生、障害者手帳をお持ちの方とその介護者(2名まで)は無料。

このリリースのお問い合わせ先

このリリースに掲載されている図版をデータにてご用意しております。掲載をご希望の際は、広報担当までご連絡ください。

* 図版をご掲載の際は、必ず作品キャプションおよびクレジットの表記をお願いします。

* 図版の無断掲載はご遠慮ください。また、トリミング、文字掛け等の加工はできません。

東京都写真美術館 〒153-0062 東京都目黒区三田 1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内

TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM 電話 03-3280-0034 / FAX 03-3280-0033 / www.topmuseum.jp

展覧会担当 関次 和子 k.sekiji@topmuseum.jp / 梶田 言葉 kotoha.masuda@topmuseum.jp

広報担当 平澤 綾乃 / 池田 良子 / 岡田 なつき press-info@topmuseum.jp